

ごあいさつ

このたびは、第一回「京都グラフィー国際写真フェスティバル」の会場のひとつとして、ジャパニーズモダン建築の美しい空間、虎屋京都ギャラリーに参加して頂きましたことを大変光栄に思います。

京都の老舗である虎屋の審美眼により厳選されたプログラムが展示される舞台上、第一回京都グラフィーの希望でありました日本写真史の幕開けである幕末明治期の写真展を、クリスチャン・ポラック氏の協力のもと実現できましたことを心から感謝申し上げます。

京都が誇る便利堂の印刷職人技術を含め、味わいの在る写真創世記の様々な形態のプリントをごゆっくりとご堪能ください。

京都グラフィー国際写真フェスティバル 代表
ルシール・レイボーズ & 仲西 祐介

このたび、京都を舞台に12会場で開催されている「京都グラフィー 国際写真フェスティバル」の会場のひとつである虎屋 京都ギャラリーでは、日仏外交・交流史研究家であるクリスチャン・ポラック氏の40年間にわたる研究活動中に収集した貴重なコレクションの中から、日本初公開の幕末から明治期の作品を展示いたします。

本展のキュレーターは日本写真史研究の第一人者であるクロード・エステーブ氏であり、京都の老舗印刷会社、便利堂様には、100年以上前にフランスから伝わったプリント技術、「コロタイプ」による高度なプリントをお願いしました。虎屋発祥の地、京都にて伝統の技と国際的な視点との融合をお楽しみください。

展示開催にあたり、当ギャラリーにこの機会をくださいました京都グラフィー実行委員会各位、貴重なコレクションの展示をご快諾くださったクリスチャン・ポラック氏、展示品の選定、調査を行なっていただいたクロード・エステーブ氏、プリントをご提供くださいました便利堂様ほか、ご教示・ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

株式会社 虎 屋

クリスチャン・ポラック氏からのごあいさつ

Greeting from Christian Polak

四十年前から、私の研究テーマである日本とフランスとの関係にゆかりのある本、古文書、写真を集めているうちに、1860年代から1880年代まで、すなわち幕末から明治10年代までに日本人写真師が撮影した肖像写真を発見し、すっかり心を奪われてしまいました。そこに写っている日本人の眼差しをじっと見つめていると、タイムスリップをして昔の人々と会話をしているような気持ちになります。皆様も同じような体験をお持ちではないでしょうか。こうした肖像写真の一枚、一枚が、どれも本当に美しく、しかも強い力を放ち、私の心にせまってきました。そんなわけで、やはり、これを（と言うか、これも）ぜひ、集めなければと一念発起したわけです。

このたびは、第一回「京都グラフィー 国際写真フェスティバル」の一出展者として会期中、ここ、虎屋京都ギャラリー様の庇（ひさし）をお借りして、私のささやかなコレクションのなかから選んだいくつかの画像を「今昔写真」と題して、皆様にご紹介する機会をいただき、まことに光栄に存じます。主催者のルシール・レイボーズ様、仲西佑介様、アドバイザーのクリスティーン・シベール様、監修のクロード・エステーブ様、そして虎屋ギャラリースタッフの皆さまに心より御礼申し上げます。

クリスチャン・ポラック

Collecting for 40 years books, documents and photographs concerning the relations between France and Japan for my researches, I was fascinated when I discovered the portraits taken by Japanese photographers between the 1860s and the 1880s. Through the eyes of those Japanese portraits, you seem to experience a time slip and enter in a dialogue with the personages.

Their real beauty and the emerging force of each portrait convinced me to start to collect them.

It is a great honor to have this opportunity to present to the public some images of my collection, under the title “Le visage des Autres”, in the Toraya Gallery during the first edition of KYOTOGRAPHIE International festival. I wish to address my sincere gratitude to the organizers Lucille Reyboz, Yusuke Nakanishi, the advisor, Christine Cibert, the curator, Claude Estèbe and all the team of Toraya Gallery.

Christian Polak

便利堂とコロタイプ印刷

便利堂は明治20年（1887）に京都で創業した老舗印刷会社。国宝、重要文化財など、内外の優れた文化遺産を、図録や図書、さらに複製品等として世に送りつづける。コロタイプは約150年前の写真草創期にフランスで生まれた写真印画（プリント）技法。熟練の技と手間ひまがかかる一方、デジタル印刷にはない深い表現が可能であり、耐久性にも優れている。便利堂は日本唯一の多色刷りコロタイプ工房を持ち、一世紀にもわたり、京都の地でこの技術を継承してきた。特に、焼損した法隆寺金堂壁画を再現できたのは便利堂の技術に拠るところが大きいことが知られている。



便利堂コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプ工房が制作した作品を展示するギャラリー。

窓越しに作業を見ることが出来る。

植田正治生誕100年記念 コロタイプポートフォリオ《童暦》わらべごよみ

2013年4月1日(月)～5月6日(月)12時～19時

京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町302

京都市営地下鉄丸太町駅6番出口より徒歩5分

株式会社 便利堂 本社1階

TEL 075-231-4351